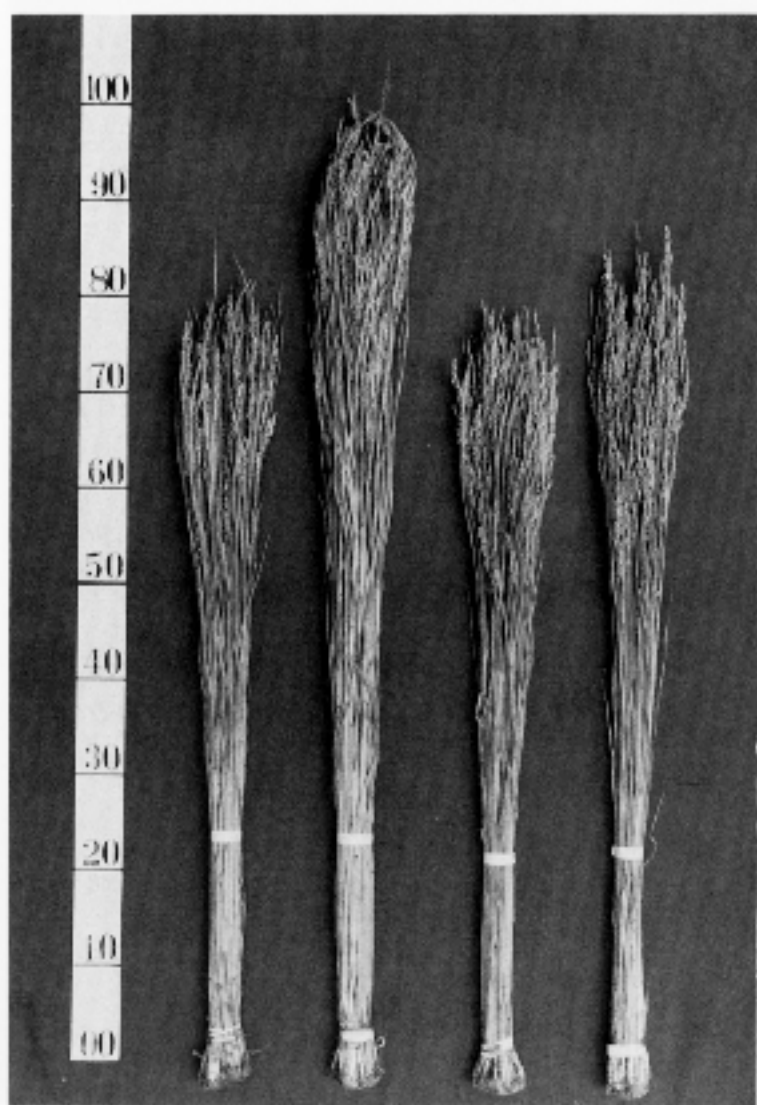


〔キタアケ〕



キタアケ はやこがね
しおかり イシカリ



キタアケ

しおかり

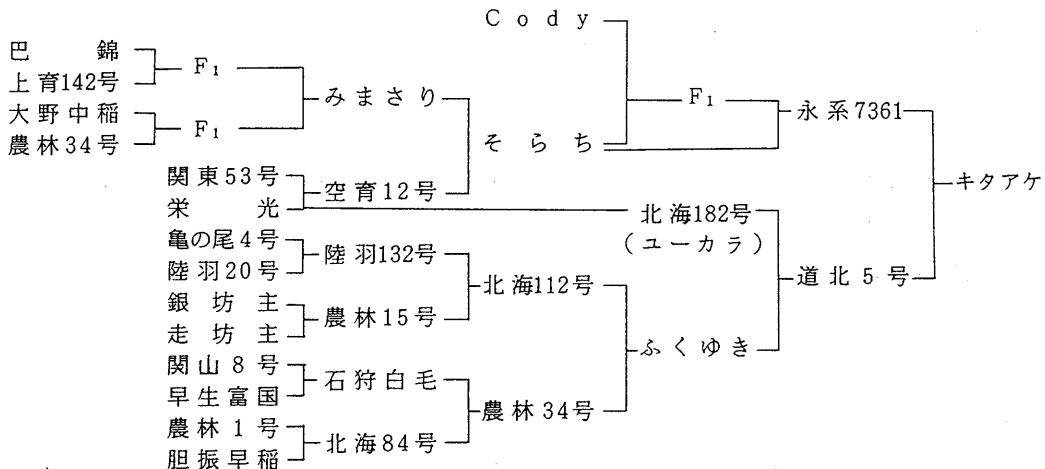
17. キ タ ア ケ

登録番号 水 稻 農 林 268 号
 登録年月日 昭 和 58 年 5 月 26 日
 旧 系 統 名 道 北 36 号
 育 成 場 所 北海道立上川農業試験場
 種 苗 登 録 第 594 号
 番 号 登 録 昭 和 59 年 9 月 5 日
 年 月 日

1. 来 歴

「キタアケ」は、昭和49年、北海道立上川農業試験場（育種指定試験地）において、中生の耐冷耐病や
 や良質系統の「永系7361」を母とし、早生で強稈耐冷やや良質の「道北5号」を父として人工交配を行
 い、直ちに冬季温室にてF₁養成を行い、夏季本田で集団栽培、昭和50年冬再び温室にて栽培した後、昭和51
 年にF₂世代で個体選抜し、以後系統育種法により選抜・固定を図った。昭和53、54年に生産力検定試験お
 よび特性検定試験に供試し、昭和55年より「道北36号」の系統名を付し、関係機関・地帯に配布して地方
 適否を確認し、昭和58年5月「水稻農林268号」として新品種に登録され、「キタアケ」と命名された。

系 譜 図



2. 形態的特性

稈長と穂長は「しおかり」「イシカリ」より短く「はやこがね」並の短稈短穂で、穂数も「はやこがね」
 並に多く、草型は穂数型である。止葉は短く中～やや直立し、穂は中～やや垂れ気味である。籾の粒着密
 度は「はやこがね」並の中である。稀に極短い芒を有し、稈色と稈先色は黄白であるが、「しおかり」
 「イシカリ」「はやこがね」などよりやや淡い。脱粒性は難である。割れ籾の割合は「しおかり」「はや
 こがね」と同程度に少ない。

粳種で、玄米の形状は中で「しおかり」「はやこがね」より長いが、「キタヒカリ」より僅かに円い。粒大はやや大で、千粒重は「イシカリ」よりもやや重い。心白は「しおかり」並で腹白は「しおかり」より少ないが、「はやこがね」「イシカリ」よりは多い。色沢はやや淡で、光沢がある。玄米品質は「しおかり」に優り、「はやこがね」並の上の下であるが、粒形、粒大を含む総合品質では「はやこがね」に優る。搗精歩合は「しおかり」「はやこがね」よりやや高く、育成地では「イシカリ」並である。食味は「はやこがね」「イシカリ」に明らかに優り、「しおかり」に比し同程度かやや優るが「キタヒカリ」にはやや劣る。

3. 生態的特性

出穂期は「はやこがね」よりやや晩く、寒地では早生の晩に属し、成熟期も早生の晩で、「はやこがね」および平常年の「しおかり」とほぼ同熟期である。稈質はやや剛で、耐倒伏性は「イシカリ」に近い強とみられる。障害型耐冷性は「はやこがね」と同程度の強である。出穂遅延耐冷性は「イシカリ」並のやや強で、「しおかり」より明らかに強い。いもち病抵抗性遺伝子は $Pi-a$ と $Pi-k$ を持つと推定される。圃場抵抗性は、葉いもち病は中、穂いもち病は中～やや強である。

登熟性は「しおかり」に比しやや劣り、ほぼ「はやこがね」「イシカリ」並であるが、登熟期の気温が極端に低い条件下では「はやこがね」よりも登熟が遅れる。枯上りは少なく、成熟期の熟色は「はやこがね」「イシカリ」並に良好である。

収量性は「しおかり」「はやこがね」に優り、ほぼ「イシカリ」並の多収であるが、収量水準が高い場合には「イシカリ」にやや劣る傾向がある。

4. 適地等

寒地の早生種地帯および中生種地帯で、具体的には、渡島・桧山の南部を除く、北海道のほぼ全域の稲作地帯に適応する。

奨励品種採用県

北海道（昭和58年～）

5. 栽培上の注意

- (1) 登熟が不良となる環境条件では良質米生産が期待し難いので、過度な施肥を避けると共に健苗育成、適期移植、適性な栽植密度および適性な水管理で生育の促進を図る。
- (2) いもち病抵抗性が十分でないので、その発生に注意し、適期防除に努める。
- (3) 耐冷性は強い方であるが、十分とは言えないので、冷害危険期の深水灌漑を励行する。
- (4) 栽培条件による玄米品質の変動は中位とされるので、良質米生産上適期刈取りを励行する。

6. 品種名の意味

北の稲作の発展の願いを込めて、「北明け」を意味する。

7. 育成者氏名

和田 定(交配 $\sim$ F₆)，江部康成(F₆ $\sim$ F₁₀)，国広泰史(交配 $\sim$ F₁₀)，新橋 登(F₅ $\sim$ F₁₀)，本間昭(交配 $\sim$ F₉)，佐々木一男(交配 $\sim$ F₇)，佐々木多喜雄(交配 $\sim$ F₇)，沼尾吉則(交配 $\sim$ F₇)，森村克美(交配 $\sim$ F₄)，丹野 久(F₁₀)。

8. 試験成績

(1) 生育調査成績

栽培 条件	品 種 名	初 期 茎 数 (本/m ²)	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	結実 日数 (日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本 /m ²)	倒伏 多少	不稔 歩合 (%)	穂 いもち 多少	割穂 歩合 (%)
成苗 標肥	キタアケ	138	7.30	9.21	53	58	15.0	574	0	7	0	29
	しおかり	136	8.3	9.23	51	72	16.1	516	0	9	0.3	16
	はやこがね	143	7.29	9.21	55	59	15.0	577	0	7	0	25
	イシカリ	132	8.1	9.24	54	61	16.9	501	0	8	0	70
成苗 多肥	キタアケ	134	7.30	9.24	55	61	15.1	654	0	8	0.8	24
	しおかり	143	8.2	9.26	55	75	16.8	579	0.3	10	1.0	17
	はやこがね	144	7.29	9.25	58	63	15.4	650	0.3	8	0.8	22
	イシカリ	138	8.1	9.28	58	67	17.5	585	0	8	1.0	60

注 1) 昭和54～57年の調査。

2) 初期茎数の調査日……昭和54：6月15日、昭和55：6月13日、昭和56：6月19日、
昭和57：6月15日

3) 倒伏の多少……0：無 1：微、なびく 2：少 3：やや少 4：中 5：多 6：甚

4) 穂いもち多少……0：無 1：微 2：少 3：やや少 4：中 5：多 6：甚

(2) 特性調査成績

品 種 名	草 型	稈		芒 性	稈 色	粒 着 密 度	玄 米					食 味
		細 太	剛 柔				粒 形	大 小	粒 色	光 沢	品 質	
キタアケ	穂 数	中	やや剛	稀・極短	黄白	中	中	やや大	薄 白	良	上 下	上下下
しおかり	偏穂数	中	やや柔	多・中	黄白	中	円	小	薄 白	やや良	上下下	中 上
はやこがね	穂 数	やや細	中	稀・極短	黄白	中	円	やや小	薄 白	良	上 下	中 下
イシカリ	偏穂数	中	やや剛	無 芒	黄白	やや密	やや長	やや大	白	やや良	上 下	中 中

注) 昭和54～57年の調査。

(3) 収量および品質調査成績

栽培 条件	品 種 名	収 量 (kg/a)				玄米重 比 率 (%)	玄 米			
		稈重	精粒重	玄米重	屑米重		立重 (g)	千粒重 (g)	品 質	検査 等級
成苗 標肥	キタアケ	47.3	68.9	55.1	1.8	103	839	22.9	上 下	1.6
	しおかり	54.6	70.0	53.4	3.5	100	835	20.1	上下下	1.9
	はやこがね	46.4	64.4	51.1	2.5	96	833	20.7	上 下	1.5
	イシカリ	52.2	70.8	56.3	3.5	105	835	22.3	上 下	2.4
成苗 多肥	キタアケ	53.9	78.1	62.0	2.6	119	839	22.9	上 下	1.4
	しおかり	67.6	69.4	52.3	4.2	100	834	19.8	上下下	2.1
	はやこがね	52.7	70.4	58.1	4.1	111	831	20.7	上 下	1.9
	イシカリ	59.4	79.1	62.8	3.5	120	833	22.1	上 下	2.4

注 1. 昭和54～57年の調査。

2. 検査等級は、2等であれば2上、2中、2下も2.0として計算した。

(4) 特性検定試験成績

ア. 耐冷性

品 種 名	障 害 型						遅延型
	育 成 地 冷 水 昭 53～57	北見農試 冷 水 昭 55～57	稲 作 部 冷 水 昭 55～57	北海道農試 冷 水 昭 55～57	穂 孕 期	出穂開花期	
					育 成 地 気象箱 昭 54～57	育 成 地 気象箱 昭 56, 57	育 成 地 気象箱 昭 56, 57
キタアケ	強	強	強	強	強	やや強～強	やや強
しおかり	やや強	やや強	中～やや強	やや強	中	やや弱	やや弱～弱
はやこがね	強	強	強	やや強	やや強	やや強～強	中～やや強
イシカリ	やや強	やや強	やや強	やや強	やや強	中～やや強	やや強
はやゆき	極強	極強	強	極強	強～極強	やや強～強	—

イ. いもち病耐病性

品 種 名	葉 いもち病		穂 いもち病	
	育 成 地 昭 53 55 ～57	北 農 試 昭 54 ～ 57	育 成 地 昭 53 ～ 57	稲 作 部 昭 54 ～ 57
キタアケ	中	中	中	やや強
しおかり	中	中	中～やや強	やや強
はやこがね	やや強	中	やや強	やや強
イシカリ	中～やや強	中～やや強	やや強	やや強
キタヒカリ	やや弱	中	やや弱	やや弱

(5) 搗精試験成績 (育成地)

品 種 名	昭 54 年		昭 56 年		昭 57 年 の 1			昭 57 年 の 2			
	搗精 回数	搗精 歩合 (%)	搗精 回数	搗精 歩合 (%)	搗精 回数	搗精 歩合 (%)	白米 白度	搗精 回数	搗精 歩合 (%)	白 度	
										玄米	白米
キタアケ	3	90.1	4	91.1	5	91.0	37.0	5.0	90.7	17.9	36.2
しおかり	3	88.9	4	90.2	4	90.7	37.0	6.3	91.0	17.0	36.4
はやこがね	3	89.7	4	90.9	5	90.5	37.0	5.5	90.5	16.9	35.8
イシカリ	3	90.1	3	90.0	4	90.8	37.5	6.5	91.1	16.8	36.1
キタヒカリ	—	—	3	90.8	—	—	—	6.5	91.2	15.0	35.4

- 注 1. 昭54、56、57年の1は成苗標肥区産米を供試、57年の2は現地試験の材料を育成地で搗精し、
2ヶ所（美瑛町、羽幌町）の平均値で示した。
2. サタケモーターワンパスOM-250型を使用。
3. 白度はケットC-3型白度計で測定した。

(6) 食味検定試験成績 (育成地)

(標準・しおかり)

品 種 名	外 観		口 あたり	味	粘 り	軟 ら か さ	総 合 評 価
	白 さ	光 沢					
キタアケ	-0.63	0.09	0.09	0.05	0.04	0.37	0.16
はやこがね	-0.60	-0.33	-0.47	-0.33	-0.46	-0.13	-0.62
イシカリ	-0.49	-0.04	-0.19	-0.20	-0.32	-0.13	-0.47

注) 4回の平均値で示した。

(7) 配布先における試験成績

① 北海道における成績

場 所	栽 培 法	品 種 名	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	成 熟 期			不稔 歩合 (%)	倒伏 程度	玄米 収量 (kg/a)	同左 比率 (%)	玄 米	
					稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)					千粒重 (g)	等級
上 川 農 試	稚中苗 標肥	キタアケ	8. 2	9.19	59	14.6	681	7	無	62.1	106	23.3	2上
		しおかり	8. 3	9.26	69	15.0	617	12	無	<u>58.5</u>	<u>100</u>	20.5	2上
		はやこがね	7.31	9.19	58	14.0	723	6	無	61.5	105	21.3	1中
		イシカリ	8. 4	9.26	64	16.0	610	10	無	61.1	104	22.8	2下
	稚中苗多 肥	キタアケ	8. 2	9.21	63	14.4	828	9	無	64.0	122	22.9	2上
		しおかり	8. 5	9.25	74	15.5	743	18	0.3	<u>52.3</u>	<u>100</u>	19.8	2中
		はやこがね	7.31	9.20	62	14.6	890	8	無	59.7	114	20.9	2上
		イシカリ	8. 5	9.29	69	16.8	740	18	無	62.7	120	22.2	2下
北 見 農 試	中苗 標肥	キタアケ	8. 4	9.23	60	13.4	609	13	無	46.2	100	21.8	2下
		はやこがね	8. 1	9.22	57	14.0	664	21	無	<u>46.3</u>	<u>100</u>	19.8	2下
		しおかり	8.10	10. 1	70	14.9	514	55	無	29.0	63	19.3	2下
		北育65号	8. 5	10. 1	64	15.6	455	53	無	28.3	61	19.9	3上
	中苗多 肥	キタアケ	8. 6	9.30	60	15.2	645	32	無	44.6	103	21.5	2中
		はやこがね	8. 1	9.26	59	14.0	659	31	無	<u>43.3</u>	<u>100</u>	20.1	2中
		しおかり	8.11	10. 3	73	15.5	562	64	無	24.5	57	19.0	2中
		北育65号	8. 7	10. 2	68	15.5	542	64	無	25.2	58	19.8	3上
原 々 種 農 場	稚中苗 標肥	キタアケ	8. 2	9.26	60	14.7	619	7	無	60.8	106	24.1	2中
		はやこがね	8. 1	9.25	58	14.2	700	6	無	56.4	99	21.6	2中
		イシカリ	8. 5	9.29	61	17.9	503	10	無	<u>57.2</u>	<u>100</u>	24.4	2中
		ともゆたか	8. 4	9.29	61	16.2	658	10	無	64.4	113	24.5	2中
	稚中苗多 肥	キタアケ	8. 2	9.28	60	15.2	675	5	無	63.4	115	23.9	2下
		はやこがね	7.31	9.26	62	14.4	752	8	1.3	59.3	108	21.5	2下
		イシカリ	8. 4	9.29	61	17.5	510	9	無	<u>55.1</u>	<u>100</u>	24.6	2中
		ともゆたか	8. 4	9.30	59	16.8	710	9	無	65.4	119	24.4	2下
稲 作 部	中苗 標肥	キタアケ	8. 6	9.30	61	16.0	605	13	無	53.1	105	23.1	3上
		はやこがね	8. 5	9.30	62	15.3	698	11	無	47.6	94	21.0	2下
		イシカリ	8. 8	10. 4	63	18.1	508	18	無	<u>50.7</u>	<u>100</u>	23.1	3上
		ともゆたか	8. 7	10. 4	61	17.3	635	20	無	53.8	106	23.3	3上

場 所	栽 培 法	品 種 名	出穂期	成熟期	成 熟 期			不稔 歩合 (%)	倒伏 程度	玄米 収量 (kg/a)	同左 比率 (%)	玄 米	
			(月日)	(月日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)					千粒重 (g)	等級
北 海 道 農 試	稚 苗 標 肥	キタアケ	8. 7	10. 2	60	13.6	528	7	0.3	46.3	117	22.2	2中
		はやこがね	8. 5	9.26	63	14.8	581	6	0.5	46.7	118	20.7	2上
		イシカリ	8. 9	10. 2	60	15.4	452	17	0.2	<u>39.5</u>	<u>100</u>	21.4	2下
		ともゆたか	8. 8	10. 2	6.1	15.0	584	12	0.2	47.3	120	22.2	2下
	稚 苗 多 肥	キタアケ	8. 7	10. 5	70	14.9	617	9	1.7	54.8	101	21.7	2中
		はやこがね	8. 4	9.30	70	15.4	632	12	2.8	53.0	98	20.4	3上
		イシカリ	8. 9	10. 7	72	16.5	603	21	0.5	<u>54.1</u>	<u>100</u>	21.4	2中
		ともゆたか	8. 8	10. 5	69	15.7	717	17	0.2	57.2	106	22.0	3上

- 注 1) 昭和55～57年の平均値。
 2) 上川農試および原々種農場の稚中苗は、昭55、56年が稚苗、57年が中苗。
 3) 倒伏程度は0：無→5：完全倒伏。

② 現地試験

支庁管内 地 帯 別		収 量 比 率 (%)									
		標 肥					多 肥				
		キ タ ア ケ	し お か り	は や こ が ね	イ シ カ リ	と も ゆ た か	キ タ ア ケ	し お か り	は や こ が ね	イ シ カ リ	と も ゆ た か
網 走	101	78	49.4	—	—	—	—	—	—	—	
十 勝	107	69	38.2	89	—	—	—	—	—	—	
上 川 北 部	110	47.2	103	(103)	—	114	45.4	114	106	—	
上 川 中 部 ・ 山 麓	109	49.4	102	103	—	118	48.2	111	109	—	
上川中南部・良地帯	104	94	(91)	56.2	—	97	89	—	63.1	—	
留 萌	100	50.1	98	104	—	102	50.2	96	105	—	
空 知 中 北 部	107	—	46.2	114	(121)	111	—	48.9	114	(115)	
空 知 南 部	109	—	96	46.3	107	106	—	88	48.8	96	
石 狩	110	—	94	43.5	111	112	—	100	44.0	104	
後 志	110	—	44.9	118	125	114	—	46.7	115	119	
胆 振	113	—	100	32.0	105	117	—	108	32.7	103	
日 高	116	—	103	42.4	(96)	129	—	109	39.7	105	
渡 島 桧 山 ・ 北 部	102	—	—	93	48.0	102	—	—	91	48.8	

- 注 1) 昭和56、57年の平均値。但し、日高および渡島桧山・北部は昭和57年の1年のみ。
 2) 各地帯の標準品種は、——で玄米重 (kg/a) を示した。
 3) () は、試験力所数が少ないもの。

9. 稲 種 苗 特 性 分 類 - 覧

項目番号	形 質	キ タ ア ケ		し お か り		は や こ が ね	
		階 級	区 分	階 級	区 分	階 級	区 分
I-1	草 型	7	穂数型	6	偏穂数型	7	穂数型
I-2-1	稈 長	3	短	6	やや長	3	短
I-2-2	稈の細太	5	中	5	中	4	やや細
I-2-3	稈の剛柔	4	やや剛	6	やや柔	5	中
I-3-2	止葉の直立の程度	5	中	5	中	5	中
I-4-1	穂 長	4	やや短	5	中	4	やや短
I-4-2	穂 数	7	多	5	中	8	極 多
I-4-3	粒着密度	5	中	7	密	5	中
I-5-2	穎 色	1	黄 白	1	黄 白	1	黄 白
I-5-3	ふ先色	1	黄白～黄	1	黄白～黄	1	黄白～黄
I-6-1	芒の有無と多少	1	稀	7	多	1	稀
I-6-2	芒 長	2	短	5	中	2	短
I-6-3	芒 色	1	黄～黄白	1	黄～黄白	1	黄～黄白
I-7	玄米の形	5	中	3	円	4	やや円
I-8	玄米の大小	6	やや大	3	小	4	やや小
I-9-2	玄米の色沢	4	やや淡	4	やや淡	4	やや淡
I-10	玄米の粒重	6	やや大	3	小	4	やや小
I-11-1	玄米のみかけの品質	3	上 下	4	中 上	3	上 下
I-11-2	玄米の光沢	7	大	7	大	7	大
I-11-6	腹白の多少	5	中	6	やや多	4	やや少
I-11-8	食 味	3	上 下	4	中 上	6	中 下
II-1	水陸稲の別	2	水 稻	2	水 稻	2	水 稻
II-2	粳, 糯の別	2	粳	2	粳	2	粳
II-3-1	出穂期	3	早生の晩	4	中生の早	2	早生の早
II-3-2	成熟期	3	早生の晩	3	早生の晩	3	早生の晩
II-4-3	障害型耐冷性	3	強	4	やや強	3	強
II-4-4	出穂遅延型耐冷性	4	やや強	7	弱	5	中
II-6	耐倒伏性	3	強	6	やや弱	5	中
II-7	脱粒性	4	やや難	3	難	4	やや難
II-9-1	いもち病推定遺伝子型	11-2	Pi-a, k	1-1	Pi-a		
II-9-2	穂いもち圃場抵抗性	5	中	5	中	4	やや強
II-9-3	葉いもち圃場抵抗性	5	中	5	中	5	中
II-9-7	縞葉枯病抵抗性品種群別						